

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-009663

(43)Date of publication of application : 19.01.1999

(51)Int.Cl.

A61J 3/00

(21)Application number : 09-208270

(71)Applicant : YUYAMA SEISAKUSHO:KK

(22)Date of filing : 26.06.1997

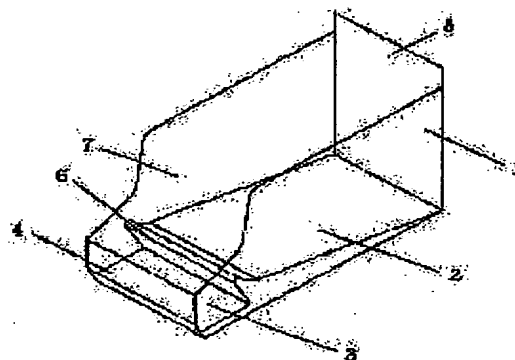
(72)Inventor : YUYAMA HIROYUKI
OZAKI HIROMASA

(54) TABLET BLISTER PACK HOUSING CASING

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily take out a tablet blister pack housing casing which is arranged on a medicine preparing table of high density in a small space, and to prevent the housing casing from being detached to drop during taking out.

SOLUTION: A guiding face is provided at a sliding direction tip part in the housing casing 1, a fraction housing part 3 is formed between a guide and a front panel. By curving a tablet blister pack under slide-taking-out by supporting with two points of the guide 6 and a sliding face 2, the tip part of the tablet blister pack can directly be taken out without contact with the front panel 4. As a stopper 5 provided for the casing 1 is supported by a shelf body, the casing never drops in spite of drawing.



(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平 1 1 - 9 6 6 3

(43)公開日 平成11年(1999)1月19日

(51)Int. Cl.⁶

A 6 1 J

3/00

識別記号

3 1 0

F I

A 6 1 J

3/00

3 1 0 K

3 1 0 B

審査請求 未請求 請求項の数 3

書面

(全 6 頁)

(21)出願番号 特願平9-208270

(22)出願日 平成9年(1997)6月26日

(71)出願人 592246705

株式会社湯山製作所

大阪府豊中市名神口3丁目3番1号

(72)発明者 湯山 裕之

豊中市名神口3丁目3番1号 株式会社湯山
製作所内

(72)発明者 尾崎 博政

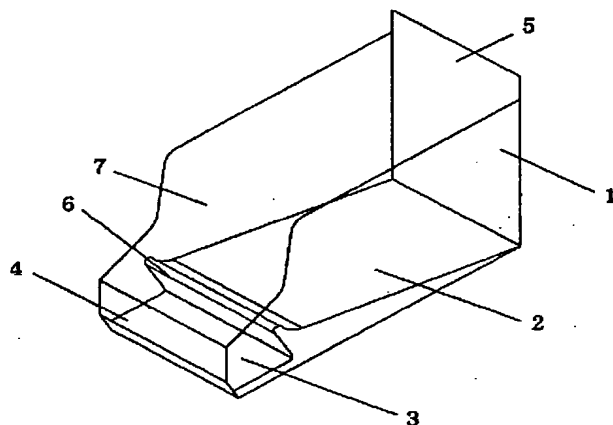
豊中市名神口3丁目3番1号 株式会社湯山
製作所内

(54)【発明の名称】錠剤プリスターバック収納容器

(57)【要約】

【目的】小スペースに高密度化した調剤台に配置する、錠剤プリスターバック収納容器を取出し易く且つ取出し中に収納容器が棚体から外れて落下しないようにする。

【構成】収納容器内のスライド方向端部に案内面を設け、案内と前板の間に端部収納部を形成し、スライド取出し中の錠剤プリスターバックを案内とスライド面の2点支持により湾曲させることで、錠剤プリスターバック先端部が前板に当たらずに直接取出すことが可能となり、収納容器に設けたストッパーが棚体で支持されるため、収納容器を引出しても落下する事がない。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 収納容器の斜め上方側に向けて、収納された錠剤プリスターバックをスライドさせ取り出す方式の収納容器スライド面に、前記収納容器の取出し方向に対向して錠剤プリスターバックを取出し方向に案内する案内面を備え、前記案内面の取出し方向端部側に端数の錠剤プリスターバックを収納する端数収納部を設けた錠剤プリスターバック収納容器。

【請求項 2】 前記収納容器を棚体に配置すると共に、収納容器を前方に引き出した時に収納容器が棚体から外れないようにするためのストッパーを設け、各棚体に前記ストッパー部を支持して収納容器が棚体から外れないように構成した請求項 1 に記載の錠剤プリスターバック収納容器。

【請求項 3】 収納容器の斜め上方側に向けて、収納された錠剤プリスターバックをスライドさせ取り出す方式の収納容器スライド面の取出し方向端部側に端数の錠剤プリスターバックを収納する端数収納部を設け、収納容器を棚体に配置すると共に、収納容器を前方に引き出した時に収納容器が棚体から外れないようにするためのストッパーを設け、各棚体に前記ストッパー部を支持して収納容器が棚体から外れないように構成した錠剤プリスターバック収納容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業の利用分野】 本発明は、錠剤プリスターバックを収納する調剤台に使用される収納容器に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、錠剤プリスターバックを収納する調剤台 10 に使用される収納容器 1 は図 1 や、図 3、図 9 に示す収納容器に保管し、患者の処方箋に従ってこれらの収納容器から処方された数だけを取り出し患者に手渡ししている。調剤師は、患者の処方箋が届く度にシート状にプリスターバックされた錠剤が 1 シート 21 錠、10 錠、20 錠等、種類に応じてまちまちのため、調剤師が処方箋を見て、その患者に適した数に 1 シートから切取って患者に手渡し、余った端数のプリスターバック錠剤は、図 1 に示す端数収納部 3 に保管して、次の処方があった時に端数を使用して患者に提供する。

【0003】 これらの収納容器は、病院内の薬局で使用されることが多く、そのため 300 処方以上処理する薬局では、この収納容器にプリスターバック錠剤がある程度の量保管する事が必要であった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかし近年、医薬分業が進む中で調剤薬局で使用するには前記病院仕様の調剤台では大きすぎるため、扱う薬品数を減らさず、設置スペースを取らない、調剤台の要求が高まっているため、従来、図 1 のような大きい収納容器を図 2 に示す高さの収納容器に設計し、更に収容量を確保するために底板の

傾斜を平らになるように設計して、この容器に合わせて調剤台の棚設計を行った結果、60%の収納スペースに縮小できる。

【0005】 この反面、従来の収納容器では容器底板のスライド面を取出し口に向かって配置していたが、高さ方向を縮小して収容量を増加させると前記底板スライド面が取出し方向から外れて、前面の壁に向かってしまい、プリスターバックの先端が引っかかって取出し難くなる問題と、収納容器各棚に配置された収納容器の高さ方向が短縮したため、収納容器の奥に収納されたプリスターバックが取り出し難い問題が発生したため、引出してから取出す方式に変更したが、調剤作業に当たり、収納容器が棚から抜けてしまい、収納されたプリスターバックを散乱させる事態が発生する。

【0006】 本発明は、高密度に収納配置可能な調剤台において、収納容器から取り出し易く、奥に収納したプリスターバック錠剤を散乱させることのない錠剤プリスターバック収納容器の提供にある。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明は、以上の課題を解決するため、収納容器の斜め上方側に向けて、収納された錠剤プリスターバックをスライドさせ取り出す方式の収納容器スライド面に、前記収納容器の取出し方向に対向して錠剤プリスターバックを取出し方向に案内する案内面を備え、前記案内面の取出し方向端部側に端数の錠剤プリスターバックを収納する端数収納部を設けた。

【0008】 また、収納容器を棚体に配置すると共に、収納容器を前方に引き出し時に収納容器が棚体から外れないようにするためのストッパーを設け、各棚体に前記ストッパー部を支持して収納容器が棚体から外れないように構成した。

【0009】 更に、収納容器の斜め上方側に向けて、収納された錠剤プリスターバックをスライドさせ取り出す方式の収納容器スライド面の取出し方向端部側に端数の錠剤プリスターバックを収納する端数収納部を設け、収納容器を棚体に配置すると共に、収納容器を前方に引き出した時に収納容器が棚体から外れないようにするためのストッパーを設け、各棚体に前記ストッパー部を支持して収納容器が棚体から外れないように構成してもよい。

【0010】

【実施の形態】 図 2、図 5、図 6、図 8 は本発明の実施例である。図 1、図 3、図 7、図 9 は従来例を示し、図 4 は、発明に至るまでの過程において、発生した問題を本発明と対比可能に説明するために添付した参考図である。本発明の背景として、高密度に収納が可能で、取出し易い調剤台の設計要件が、ある。このような設計的背景を解決する手段として、図 3 に示す従来の収納容器 1 を図 4 に示すように、高さ方向に短縮設計する事で棚段を増加させることが 1 つの手段として考えられる。このように、収納容器 1 を短縮する設計は当然ながら収納容

器1のプリスターバック収納量も縮小されることになる。

【0011】図3の従来例に示す設計的背景として、収納量と取り出し易さ、また端数のプリスターバックを分別して収納できる事が課題であり、これらの課題を解決するため、収納容器1を引き出さずに取り出せるように、取出口7を広く且つ集積するプリスターバックが取出口7の方向に倒壊してこぼれないように、且つ端数収納部3のプリスターバックもこぼれることのないように前板4を設け、端数のプリスターバックを入れる端数収納部3を備えて、スライド面2から前板4により上方に向けてプリスターバックの先端部が押し上がって取出される。前板4の外面には収納される薬剤名が表示できるホルダーが備えられている。このため、収納容器1を棚体から引出す必要もなく取り出すことができる。

【0012】図7は収納容器1を棚体8から引出すことなく取出口7から取り出す様子を示している。この場合、スライド面2に沿ってプリスターバックTが移動し、前板4の角度で上方に取り出されているのがわかる。

【0013】本発明の構成は、高集積する条件が設計課題であり、その条件から発生する問題点の主要部分に、高集積条件が原因で取り出し難くなる問題がある。そこで、図6に示すようにスライド面2の先端部に案内6を設ける事でスライド面2をできるだけ水平に且つ低い位置に設けて、収納容量を増やし、この収納容量の増加対策で、前板4に取り出し時にプリスターバックTの先端が引っかかって取り出しにくくなる問題を案内6を前記前板4の略上方に向けたアール形状の突起を設けている。取出口7から手Hにより、プリスターバックTの下部先端を引出しスライド面2をスライドさせると、プリスターバックTの先端部が案内6により上方に持ち上げられ取出口7からプリスターバックTが取り出される。

【0014】図8はこの様子を詳細に示している。取出口7から手HによりプリスターバックTをスライドさせる過程で、プリスターバックTの両端部が案内6の先端とスライド面2で支持されるため、手Hの押し圧加重でプリスターバックTが湾曲する。このため、案内6の先端部の方向は、前板4の面に向かっていてもプリスターバックTの先端部は直接取出口7に向かうため、図7のよう前板4にプリスターバックTの先端が当たらないため取出しがスムーズに行うことができる。また、端数のプリスターバックT'が端数収納部3に収納されていても、取出し中のプリスターバックTには接触することなく前板4の上方に導き出され、容易に取り出すことができる。

【0015】本発明の実施例では、スライド面2が前板4の上方に向かって上り勾配になっているが、本発明のように案内6を設けるなら水平にしてもよく、この場合、端数収納部3は案内6の先端部と前板4の間に形成

される。端数収納部3の深さ大きさを十分に確保するには案内6の大きさを調整することで実施できる。

【0016】本発明の実施に当たっては、もう一つの大きなテーマが存在する。収納容器1の高さ方向を短縮すると、取出口7から手Hが入らなくなるか、少なくとも手を入れにくくなるため、指先で前板4やスライド面2、案内6の引っかかりを利用するなりして収納容器1を棚体8から引き出した後、図6で説明した手順でプリスターバックTを取出す。

10 【0017】このように収納容器1を引出して取出すと、スライド面2とプリスターバックTの接触抵抗により収納容器1が棚体8から外れて落下するおそれが高く、本発明の趣旨である取出ししやすい要件から外れた考えである。そこで、図6に示すように収納容器1にストッパー5を設け棚体8に備えた支持部9により収納容器1の引出しを一定の距離で阻害している。このように構成する事で収納容器1が落下する事なく容易に取り出すことができる。

20 【0018】図5は第二実施例を示している。収納容器1を引出して取出すことを前提に考え、収納容器1を引出して取出す時、前記スライド面2とプリスターバックTの接触抵抗により収納容器1が棚体8から外れて落下しないように収納容器1にストッパー5を設け棚体8に備えた支持部9により収納容器1の引出しを一定の距離で阻害している。個々で示したストッパー5は筒状の支持体11内にピン12を挿入したもので、このピン下部先端が収納容器1の引出し方向に沿って棚体8にピン12と係合する溝13を備えており、収納容器1の引出しを一定の距離に保つため、ピン12と係合する溝13の端部をもって支持部9としている。

30 【0019】収納容器1を棚体8に収納する場合、ピン12が収納容器1の底面にそった位置になり、収納されるとピン12の自重で溝13に係合する。このピン12は鉄等の磁性体で形成しているため、取り外しの際は収納容器1の内部より、マグネットMでピン12を上方に持ち上げて外す事ができる。

40 【0020】このような第二実施例には、第一実施のような案内6を備えていないため、スライド面2をスライドさせて、プリスターバックTを取出すと前板4に当たってしりだし難くなるため、本発明を実施するには第一実施の方が好ましい。

【0021】本発明の実施例では収納容器1に板状のストッパーを設けているが、収納容器の底に設けた溝に勘合する棚体に設けた突起により引き出しの案内を行い引き出しの距離が一定距離引きでされると収納容器の溝が終端部に達して棚体に設けた突起により同様のストッパー効果が実施できその他応用例は数多く考えられるが、そのいずれの手段を採用してもかまわない。

【0022】また、案内6はアール形状に表現したが、スライド面からスライドに引っかかりを生じることがな

5

いなら角度の違う平面で構成してもよく、スライド中のプリスターバックTが案内6とスライド面との2点支持により、プリスターバックTが湾曲し、スライドを阻害しないようにするならいずれの手段も本発明の構成に当てはめる事ができる。

【0023】

【効果】以上、本発明によれば調剤薬局向けに設置スペースが60%に設計でき且、従来機能を越えた取出し易さが実現可能でコストも安く、収納容器にプリスターバックの補給を行う場合でも、この収納容器が外れて残り

【図面の簡単な説明】

【図1】 従来の錠剤プリスターバック収納容器を示す斜視図

【図2】 本発明の錠剤プリスターバック収納容器を示す斜視図

【図3】 従来の錠剤プリスターバック収納容器を示す側面断面図

【図4】 高集積化に伴う参考錠剤プリスターバック収納容器を示す側面断面図

6

【図5】 高集積化に伴う参考錠剤プリスターバック収納容器を示す側面断面図

【図6】 本発明の錠剤プリスターバック収納容器を示す側面断面図

【図7】 従来の錠剤プリスターバック取り出しを示す詳細断面図

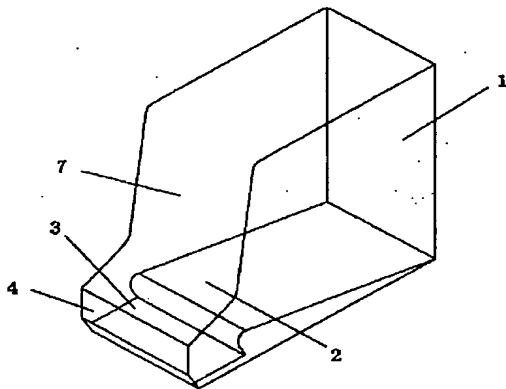
【図8】 本発明の錠剤プリスターバック取り出しを示す詳細断面図

【図9】 従来の錠剤プリスターバック収納容器を配置した調剤台の斜視図

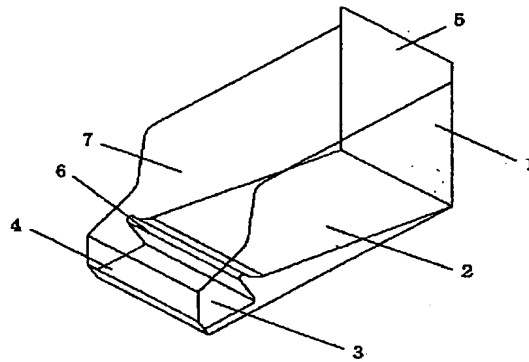
【符号の説明】

1. 収納容器
2. スライド面
3. 端数収納部
4. 前板
5. ストッパー
6. 案内
8. 棚体
9. 支持部
- 20 H. 手
- T. 錠剤プリスターバック

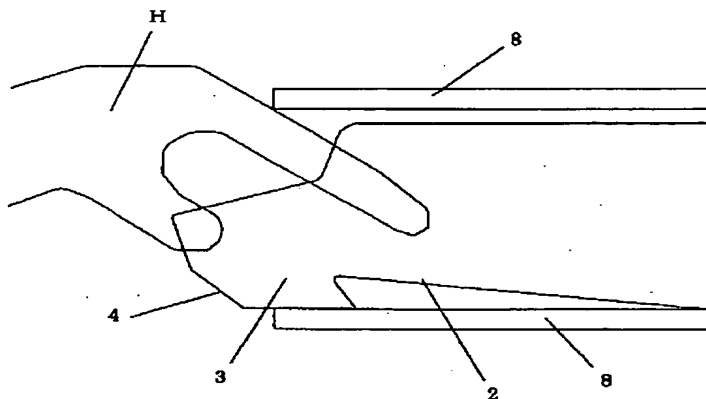
【図1】



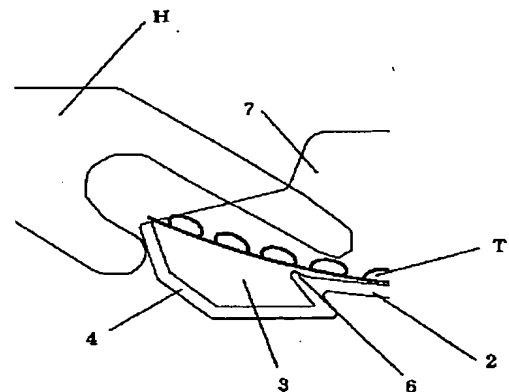
【図2】



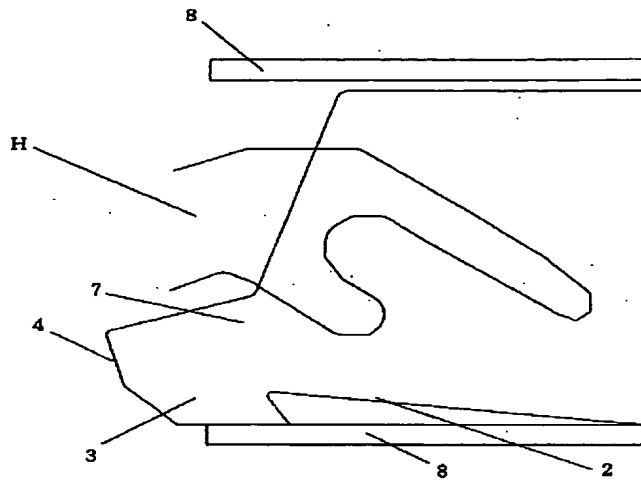
【図4】



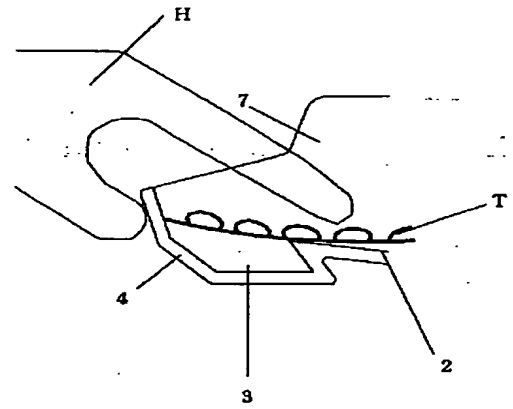
【図8】



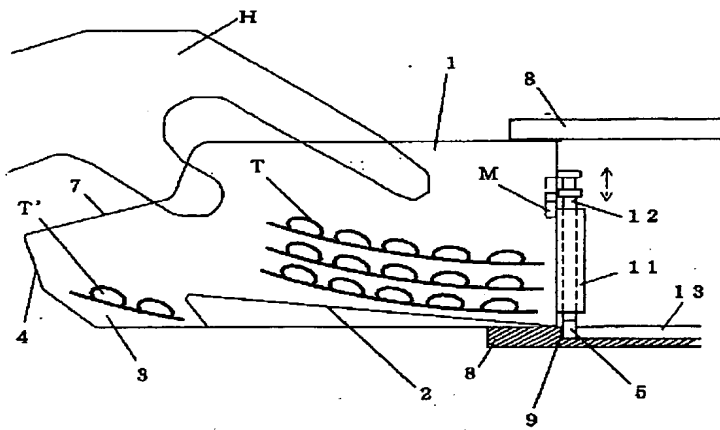
【図3】



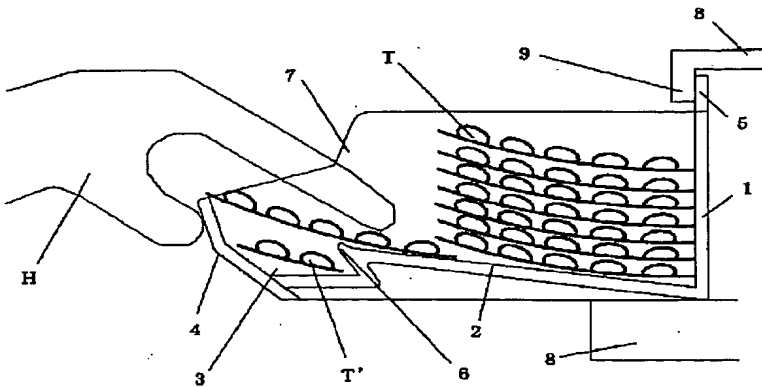
【図7】



【図5】



【図6】



【図 9】

